

実務経験のある教員による授業科目一覧 (2017年度入学 工学部・生産工学科)

No	区分	必修・選択	授業科目名	単位数	配当年次	教員名	実務経験の職種・所属・実務経歴など	授業概要 (実務経歴と授業とのかかわり、実践的教育の内容など)
1	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅠ	2	3前期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
2	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅡ	2	3後期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
3	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅠ	1	3前期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
4	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅡ	1	3後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
	専門基礎科目	選択	基礎力学	2	1前期	古元 秀昭	三菱日立製鉄機械株式会社において機械関係研究開発にたずさわる	授業の前半では力の合成と分解の方法を詳細に学習し、後半ではこれらの知識を応用して、力の釣り合いに関する問題を解析する。授業中に演習をしながらそれぞれの問題の計算方法を詳細に解説する。実務家教員として理解の深化を促すこととする。
	専門応用科目	選択	工業力学	2	2前期	古元 秀昭	三菱日立製鉄機械株式会社において機械関係研究開発にたずさわる	まず、質点の変位、速度、加速度など運動の形態を解析する運動学を学習し、次に、ニュートンの運動法則とダランベールの原理を中心に運動と力の関係に関する動力学を学び、最後に、応用問題として、てこ、滑車、輪軸、斜面などの簡単な機械における力学問題と機械の効率などを学習する。実務家教員として理解の深化を促すこととする。
	専門応用科目	選択	機械力学	2	3前期	古元 秀昭	三菱日立製鉄機械株式会社において機械関係研究開発にたずさわる	静力学や運動学の基礎となる概念、機械の運動の中心となる往復運動や回転運動の力学、振動工学問題など、機械力学に関する基礎的事項について講述し、演習問題を行う。実務家教員として理解の深化を促すこととする。
	専門応用科目	選択	3次元CADⅠ	2	2前期	西原 亜弥 中村 格芳	西原 亜弥は、株式会社アシストで設計を業務としている	使用するソフトウェアは、多くの製造業で実際に業務として適用されているSolidWorksである。講義内容は、3次元CADの基本概念・利用目的、基本操作、スケッチ・ベースフィーチャー作業習得、作成部品を用いたの組立作業(アセンブリー)、ドローイングである。各回の授業内容についてGoogle Classroomを使用して確認問題の実施および質問の受付を行い、次週解答と解説を行う。
	専門応用科目	選択	3次元CADⅡ	2	2後期	西原 亜弥 中村 格芳	西原 亜弥は、株式会社アシストで設計を業務としている	使用するソフトウェアは、多くの製造業で実際に業務として適用されているSolidWorksである。講義の内容は、サーフェス機能の習得、エンジンの機構、ピストン・ピストンピンおよびリング・クランクシャフトのフィーチャー作成、エンジンアセンブリー、排気量計算、モデル編集と図面作成である。各回の授業内容についてGoogle Classroomを使用して確認問題の実施および質問の受付を行い、次週解答と解説を行う。
	単位合計			16				

実務経験のある教員による授業科目一覧（2017年度入学 情報化学部・情報デザイン学科）

No	区分	必修・選択	授業科目名	単位数	配当年次	教員名	実務経験の職種・所属・実務経歴など	授業概要（実務経歴と授業とのかかわり、実践的教育の内容など）
1	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅠ	2	3前期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
2	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅡ	2	3後期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
3	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅠ	1	3前期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅡ	1	3後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
	インターネットシステム科目	選択	Webシステム入門	2	2後期	遠藤 麻里	(株)Urbineにおいて、Webデザイナー・プログラマーとしてWebページの企画開発をした。	インターネットを通じて利用できるウェブサイトやショッピングやゲームなどの様々なサービスは、Webアプリケーションを利用したWebシステムで実現されている。本講義では、Webシステムの基礎をHTMLからはじめ、Apache、PHP、MySQLなどを用いて学ぶ。授業は説明と実習を交互に繰り返し進め、数回のプログラミング課題の提出を行う。最終的には、各自がAPMを用いた簡易なWebシステムを構築する。授業の事前準備として、前回までの講義内容を再確認しておくこと。また、時間内に課題が終わらない場合は、次回までに完成させておく必要がある。
	インターネット表現科目	選択	Webサイトデザイン	2	3後期	趙 領逸	(株)ADcapsuleSoftにおいてPEPSI Color Korea サイトの構築を始め様々な分野のWebサイト制作にデザイナーおよびプロジェクトマネージャとしてたずさわる	主にAdobe Dreamweaver（webサイト構築ソフト）、Adobe Photoshop（画像編集ソフト）FTP（サーバー転送用ソフト）を使い、Webユーザビリティ&アクセシビリティ方法を考慮したレスポンスWebサイトの制作を行う。またFTPを通してサーバーにアップロードする。授業では、演習を行うことで理解を深める内容を計画している。 ・Webサイト構築ソフトウェア、サーバー転送用ソフトウェアの操作を行う。 ・オリジナル編集、完成までの映像制作に必要な一連のプロセスを体験する。 ・毎時間、進捗状況を提出する。最終課題にはプレゼンテーション及び講評を行う。 ・資料はネット上に載せてあるため、自主学修をすることができる。
	コンテンツ文化・産業科目	選択	ゲームデザイン	2	2後期	北野 不凡	ソフトファクトリーにおいて、企画・プログラマ・ディレクターとして各種ゲームを開発をした。	この講義では、1. ゲームの一般的な構成要素、2. 遊びとしてのゲーム、3. ゲームを企画する過程の体験、4. ストーリー構成に対する知識について学習する。 ゲームの構成要素や開発の過程や歴史、ならびにゲームやストーリーの企画立案に関する手法について学習することで、今後社会で求められるであろう、ゲーミフィケーションを開発、対応できる人材を養成する。
	コンテンツ文化・産業科目	選択	ゲーム制作I	2	3前期	鶴根 弘行 北野 不凡	北野 不凡は、ソフトファクトリーにおいて、企画・プログラマ・ディレクターとして各種ゲームを開発をした。	この講義ではノベルゲームの作成に必要な作業・技法について学習する。具体的には「吉里吉里」などのスクリプトエンジンによるゲームデータの作成に関する事項と、ゲームの企画ならびにシナリオの制作に関する事項について、2クラスに分かれて学習する。 テキストアドベンチャーゲームを題材に、ゲームをデザインする上で必要な技法について学習する。両クラスに共通する目標として、スクリプトエンジン「吉里吉里」を使ったノベルゲームの制作技術を習得する。鶴根クラスでは画面制御や特殊効果に関する技術を、北野クラスではより具体的なシナリオ制作技術を中心に学ぶ。
	単位合計				14			

実務経験のある教員による授業科目一覧（2017年度入学 情報化学部・現代社会学科）

No	区分	必修・ 選択	授業科目名	単位数	配当 年次	教員名	実務経験の職種・所属・実務経歴など	授業概要（実務経歴と授業とのかかわり、実践的教育の内容など）
1	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅠ	2	3 前期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
2	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅡ	2	3 後期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
3	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅠ	1	3 前期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅡ	1	3 後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
	経営ビジネス科目	選択	簿記Ⅰ	2	2 前期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所において、企業調査等実際にコンサルティング業務に従事していた。	簿記は、現金の収入・支出や商品の仕入・販売など、さまざまな企業活動を正しく記録・計算・整理し、その結果を報告するための技術です。本講義では、複式簿記の基礎である商業簿記の基本原則を中心に記録するためのルールの説明と基本的な仕訳を理解します。日商簿記検定3級合格レベルの簿記の基本原則の理解を目指す。仕訳・転記ができる。
	経営ビジネス科目	選択	簿記Ⅱ	2	2 後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所において、企業調査等実際にコンサルティング業務に従事していた。	簿記は、現金の収入・支出や商品の仕入・販売など、さまざまな企業活動を正しく記録・計算・整理し、その結果を報告するための技術です。本講義では、複式簿記の基礎である商業簿記の基本原則を中心に記録するためのルールの説明と基本的な仕訳を理解します。日商簿記検定3級合格レベルの簿記の基本原則の理解を目指す。財務諸表（P/L、B/S）が作成できる。
	経営ビジネス科目	選択	会計学	2	2 前期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所において、企業調査等実際にコンサルティング業務に従事していた。	会計とは、企業の経営活動を会計帳簿に記録し、株主や債権者等の利害関係者に対してその財政状態や経営成績を、財務諸表を通じて報告することをいいます。本講義では、財務会計の基礎的概念と技法の理解を通じて、企業経営の意思決定に役立つ会計の本質を学びます。・財務諸表（P/L、B/S、C/S）の仕組みについて学習し、その役割がわかる。
	経営ビジネス科目	選択	簿記会計学	2	2 後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所において、企業調査等実際にコンサルティング業務に従事していた。	講義では、ビジネスに必要な会計知識である「決算書(財務諸表)の読み方」と「管理会計の基礎」について、それらの基本となる簿記(財務諸表の作り方)の観点から学習します。会計の仕組みを理解するために、簿記の構造を理解する。
	単位合計			14				